

# 令和7年度 丹波篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について

(第3学年)

1学期に実施した全国学力学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに本校の分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

## ●国語

### 【目標値に達している項目】

- ・書くこと

### 【課題のある項目】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項
- ・話すこと、聞くこと
- ・読むこと

全体としては全国平均とほぼ同等ですが、若干下回っています。「書くこと」の項目については全国平均を上回っていましたが、それ以外の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の項目は全国平均より下回っており、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」については5%以上下回っており、課題があると言えます。多様な文章に触れる機会を作り、内容理解を深め、語彙力と表現力の向上を目指します。さらに、グループワークを通じ、自分の考えを明確に伝え、相手の意見を正確に理解する練習を重ねていきます。

## ●数学

### 【目標値に達している項目】

- ・図形

### 【課題のある項目】

- ・数と式
- ・関数
- ・データの活用

全体としては全国平均とほぼ同等ですが、若干下回っています。「図形」の項目については全国平均を上回っていましたが、それ以外の「数と式」「関数」「データの活用」の項目は全国平均より下回っており、特に「関数」については3%以上下回っており、課題があると言えます。「数と式」については、より多くの問題に取り組む時間を確保し、いろいろな問題のパターンに触れ反復することで、どんな問題にも対応できるようにしていきたいです。また、「関数」については、関数の基本式やグラフ、XとYの値の対応表がどのように関連しているかを明確にし、関数の理解を深めていきます。「データの活用」では、基本的な事項の説明を行うだけでなく、日常生活とどのように結びついているか、提示された度数分布表や箱ひげ図の見方・考え方を伝えることで、さらに力を伸ばしていきたいです。

## ●理科

### 【課題のある項目】

- ・「エネルギー」を柱とする領域
- ・「粒子」を柱とする領域
- ・「生命」を柱とする領域
- ・「地球」を柱とする領域

全体的には全国平均を少し下回る傾向にありましたが、「地球」を柱とする領域では、難易度が高い問題において、全国平均を少し上回る結果も得られています。大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識および技能を関連付けて、地層の重なり方や広がりやを推定する力が身についていると考えられます。一方で、「粒子」を柱とする領域では、知識を問われる問題の一部や、判断して自らの考えを記述する問題において、無回答である率が全国平均より高い傾向が見受けられました。この領域に苦手意識を持つ生徒は例年多いため、化学変化に関する知識および技能の定着のために、過年度の既習事項について1学期に復習を行いました。また、身の周りの事象を科学的な視点で捉え、自らの考えを述べる力が身につくよう、今後もグループによる実験や観察等を実施し、お互いの考えを共有できる場を設けていきます。

### ●生活習慣・学習習慣について

「いじめのサイン」「学級の絆」「友だちのささえ」「社会参画」のカテゴリーにおいては、全国平均を上回り良好な様子がみられます。いじめについては、「いじめは許さない」「見逃さない」という態度で常に指導にあたっていますが、生徒自身も何か気になったことがあれば担任に話すなど、いじめへのアンテナを高く持っていると感じます。引き続きいじめについては、アンテナを高く持ち指導にあたり、信頼関係を大事にしていきます。人間関係については、調査結果から友だちとの絆やクラスの絆を感じながら生活できています。授業でのグループワークや、行事でのクラス活動を通してさらに人との絆を深めていけたらと思います。社会参画については、1年生の時から地域のボランティアに積極的に参加する生徒が多く、今年度についてもボランティアに参加する生徒が多くみられました。今後も道德の授業などを通じて、社会参画の重要性について引き続き考えさせていきます。

「学習習慣」「学習意欲」のカテゴリーにおいては、全国平均を大きく下回っています。普段の授業では、落ち着いて授業に取り組んでいるものの、家庭学習の習慣化ができていない生徒が多く、学習への意欲が低い生徒が多いように感じます。進路学習を進める中で、高等学校について調べたり、学習する意義について考えたりすることで学習意欲の向上を図り、家庭学習に関しては家庭とも連携して啓発していきようにしていきたいです。